

ふるさと納税便りvol.11

ふるさと応援寄附（ふるさと納税）をいただいた皆様へ

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様には、ふるさと納税を通して、本市に対してたいへん温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

ふるさと納税便りは、皆様からの貴重な寄附金を、どのように活用させていただいたのか、その内容についてお知らせするものです。

今回は、平成30年1月から平成31年3月に頂戴した寄附金を活用し、令和元年度に実施した事業内容についてお知らせいたします。

今後も引き続き、佐賀市への応援をよろしく願いいたします。

佐賀市長 秀島敏行



東よかビジターセンター「ひがさす」**2020年10月20日オープン**
6ページ「8. ラムサール条約湿地の保全と活用のために」



企画政策課 令和2年10月発行

令和元年度 ふるさと応援寄附金活用報告

メニュー項目	寄附金額（円） H30.1月～H31.3月	R1年度 活用額（円） 決算	備考
1. 子どもの学びの環境を充実するために	137,440,000	209,594,000	
2. 子どもたちへの支援・応援のために	61,327,000	61,327,000	
3. “バルーンのまち佐賀”推進のために	13,713,000	13,713,000	
4. さが桜マラソン・スポーツ振興のために	3,505,000	3,505,000	
5. 街なかの祭り等を通した賑わいづくりのために	3,321,000	3,321,000	
6. 大隈重信記念館事業を推進するために	11,320,000	11,320,000	
7. 花とみどりあふれる美しい佐賀のために	6,206,000	6,206,000	
8. ラムサール条約湿地の保全と活用のために	12,044,000	25,006,000	
9. 二酸化炭素を使いながら減らしていくために	4,556,000		後年度に活用するため、基金積立
10. 環境に配慮したまちづくりと生活環境の保全のために	9,139,000	9,139,000	
11. 幕末産業遺産の保存・活用のために	6,160,000	2,707,000	残額は後年度に活用するため、基金積立
12. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために	18,708,000	21,370,000	
13. 古湯映画祭等で賑わいづくりを	1,389,000	1,000,000	残額は後年度に活用するため、基金積立
14. みつせ高原キャンペーン等で賑わいづくりを	1,005,000	1,005,000	
15. 佐賀空港北側の川副桜ロードのために	3,077,000	1,617,000	残額は後年度に活用するため、基金積立
16. 市民活動の応援のために	2,112,000	2,112,000	
17. まちの環境整備・基盤整備のために	8,074,000	8,074,000	
18. 高齢者、障がい者福祉の充実のために	21,197,000	21,197,000	
19. サガン鳥栖の応援のために	6,147,000		後年度に活用するため、基金積立
20. 市長おまかせ(指定なし)	204,980,700		他メニュー及び事務経費に振り分け
合計	535,420,700	402,213,000	

※令和元年度の活用額が、寄附金額を上回っているものについては、「市長おまかせ(指定なし)」及び平成30年度までの積立額を活用させていただいております。

※平成30年7月豪雨災害に際し頂戴した寄附金3,332,500円については、平成30年度に復旧・防災事業に活用させていただきました。（ふるさと納税便りvol.10にてご報告）

ご寄附の活用状況

平成30年1月～平成31年3月に頂戴した寄附金575,010,000円については、使途のご指定内容をもとに、主に令和元年度に実施した事業に活用させていただきました。

誠にありがとうございました。

1. 子どもの学びの環境を充実するために



佐賀市立小中学校の教室に設置している電子黒板の整備費に使わせていただきました。

電子黒板の大きな画面に、デジタル教科書の画像や動画など、視聴覚教材を活用することで、子どもたちの学習への理解を深める手助けとなっています。また書画カメラや学習ソフトウェアを活用し、電子黒板に子どもたちの作品やノートを提示して、伝え合う活動や学び合う活動に取り組むことにより、子どもたちが主体的・対話的に学びを広げたり深めたりすることができています。



すべての佐賀市立小中学校で、新刊本、人気の本や調べ学習に役立つ本など、それぞれの学校のニーズにあった本を選んで購入することで、学校図書館の本の充実を図りました。子どもたちは新しい本が棚に並ぶのを楽しみにしており、購入した本は毎日多くの子どもたちが手に取り、利用しています。

また、佐賀市立小中学校ではお互いに本の貸し借りをを行い、各学校で購入した本を全校で活用しています。



市立小・中学校で備品等を購入させていただきました。

○循誘小学校

特別支援学級での児童への学習補助のため、タブレットパソコンを購入しました。

自立活動の時間に、制作物のつくり方の見本を掲示したり、読み上げソフトで、教科書の読み上げ、算数計算アプリ・ひらがなアプリ・しりとりアプリなど、授業のいろいろな場面で活用しています。

○本庄小学校

ポータブルワイヤレスアンプを購入させていただきました。電子黒板につなげて音声を拡大したり、行事の際のスピーカーとして活用しています。また、今年は新型コロナウイルス感染症対策として、児童が間隔をあけて広がった際のスピーカーとしても、大いに活躍しています。



【市立図書館本館】



子ども向けの本と子育て関連の本を購入しました。子ども向けの本は利用も多く、子どもが本に親しみを持つきっかけになる大切な資料です。今回も多くのご寄附を頂いたことで、新刊本を充実させるだけでなく、利用で傷んだ本も買い直しをすることができました。

購入した本は、図書館を訪れる多くの子ども達や子育て中の大人など、毎日、多くの人に利用されています。

「市民と共に育つ」佐賀市立図書館をこれからもよろしくお願い申し上げます。



【市立図書館諸富館】

地元で要望の高い本やシリーズ本など、絵本、児童書を購入させていただきました。諸富館は、開設当初から地元諸富町の絵本の読み聞かせボランティアグループ“おはなし連絡会Morodomi”（6グループの統括）とともに、毎週土曜日に交代制で「おはなし会」を開催し、本の読み聞かせによる読書推進活動を行っています。

図書館職員や読み聞かせボランティアグループの方々も、新しい絵本を手にし、図書館や保育園等での絵本の読み聞かせに活用させていただいています。



【市立図書館大和館】

親子での利用が多い絵本や小学生の利用が高い児童書等、また、クリーンコート、資料貼付用バーコード等の消耗品も購入し、設備の充実を行い大切に活用させて頂いています。

大和館は現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受け来館者が減っていますが、こういう時こそ、未来を担う子供たちの情操教育を図っていく機会だと思い、図書館の充実を図っています。今回寄附を頂いたことにより、利用者のニーズにあった児童書を購入することができ、児童書コーナーの充実が図られ、毎日多くの人が利用されています。今後も利用者に愛される大和館を目指していきたいと思っています。



【市立図書館富士館】

絵本や児童書を中心に60冊の書籍を購入し富士館の資料充実を図ることでき、特に親子や子どもたちの利用者の皆さまに大変喜んでいただいております。

一般の貸出はもとより、小中学校や子育てサロン等の団体貸出、おはなし会のイベントにも活用させていただいております。

充実した図書を備え、皆様から親しまれ、愛される図書館を目指してまいりますので、これからもよろしくお願い申し上げます。



【市立図書館三瀬館】

三瀬館は三瀬高原にある小さな図書館です。今回、新刊本から勉強に役立つ本、季節の絵本などの児童書、また展示用イーゼル等を購入いたしました。学校帰りの小学生や赤ちゃん連れのお母さんなど、多くの方が本を手に取り、借りていかれています。今後たくさんの人に本を読んでいただきたいと考えています。

今回ご寄附いただいたことで、児童書の充実を図ることができました。



【市立図書館川副館】

新刊書を中心に、小学校の調べ学習に活用できる本や知識・行事の絵本など、児童書等を購入させていただきました。

「ふるさと納税の本」展示期間中には、子どもはもちろん、大人の方も本を手にする様子が多く見られました。調べものや、夏休みの宿題の手助けとなり、大変役立ちました。幼稚園や保育園、こども園などにも楽しく学べる本が増えた事を伝え、更なる利用につなげたいと思います。調べ学習の本は、学校はもちろん、保護者へも紹介し、知識・行事の絵本は、小学校や図書館での読み聞かせの際や、紹介する関連本としても活用したいと思います。

今回ご寄附で児童書等の充実を図ることができました。

【市立図書館東与賀館】



新刊書を中心に、大型絵本を含む児童図書を購入し、本を充実させることができました。個人で本を借りていく子ども達だけでなく、ボランティアや学校を通して本を手にする子ども達もいます。お話サークルや学校といったグループが長期間まとまった数の資料を利用できる団体貸出サービスです。団体利用の先にいる子ども達にも届く本を今回購入しました。

新型コロナウイルスの影響で外出を控えなければならない期間が増えております。このような時だからこそ、本を読むことで、子供たちの知識や笑顔が増えることを願っております。地域住民の皆様が必要とされ、長く愛される存在であるためにも、書籍類の充実とともに利用促進を図っていきたいと思います。

2. 子どもたちへの支援・応援のために



佐賀市では、市民総参加で子どもを育む「子どもへのまなざし運動」を推進しています。市内各地域で取り組まれている「登下校見守り」「学校行事」「地域イベント」等の様々な活動に役立てていただくよう、まなざし手袋、ベスト、帽子やのぼり旗などを製作しました。地域の皆様からは「ベストは目立つ色で分かり易く、子どもたちとのコミュニケーションもとり易い」など、ありがたい言葉をいただいています。

また、経済的理由により就学が困難な市内小中学生の保護者に、給食費・学用品費等の支援を行いました。

3. “バルーンのまち佐賀”推進のために

晩秋の秋の風物詩「バルーン大会」



2019年10月31日から11月4日までの5日間、2019佐賀インターナショナルバルーンフェスタを、佐賀市嘉瀬川河川敷をメイン会場として開催しました。

40回目の節目の大会として、16カ国・地域から121機のバルーンが参加し、世界トップレベルの熱戦が繰り広げられ、期間中は92万8千人のお客様で賑わいました。

皆様から頂いた寄附金は、ポスター、パンフレット等の作成といった広報費用及び、お客様に安全にバルーンフェスタを楽しんでいただけるように、会場内における観客対策費用の一部として大切に活用させていただきました。

4. さが桜マラソン・スポーツ振興のために



さが桜マラソンは2013大会からフルマラソン大会に生まれ変わり、佐賀の一大イベントとして定着してまいりました。寄附金を使用させていただき、当マラソン開催に向けて、沿道応援の際に使用する「スティックバルーン」などの応援グッズを作成しています。

2020大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止としましたが、例年、コース沿道や給水所にて、小さい子どもから大人まで多くの方がグッズを使用して、全国から参加するランナーを応援しています。特に子どもたちには、応援によるランナーを「支える」魅力を感じるいい機会となっています。

5. 街なかの祭り等を通した賑わいづくりのために

佐賀に春の訪れを告げる「佐賀城下ひなまつり」



2020年2月11日から3月15日までの34日間、佐賀市松原の徴古館と佐賀市柳町にある佐賀市歴史民俗館をメイン会場として、佐賀城下ひなまつりを開催しました。

20回目の開催となった今回は、鍋島家に代々伝わる雛人形や雛道具、佐賀錦や鍋島小紋の雛人形といった例年の展示に加えて、サンリオの大人気キャラクター「マイメロディ」に関連した企画展「マイメロディと一緒に楽しもう♪in佐賀城下ひなまつり」を開催しました。前回に続き、ファミリー層が多く、期間中38,375名の方にご来場いただきました。



6. 大隈重信記念館事業を推進するために

大隈重信記念館では、総理大臣を二度務めた政治家として、また、早稲田大学の創設者として有名な佐賀の偉人である大隈重信侯を顕彰するため、大隈侯に関連する貴重な資料や映像を展示しています。

また、記念館に併設されている大隈重信旧宅（生家）も公開しており、希望される方は中に入って見学することができます。毎月5がつく日には、生家の2階にある大隈侯の勉強部屋も特別に公開しています。

【令和元年度の入館者数：11,278人】



7. 花とみどりあふれる美しい佐賀のために①

日本庭園をイメージした園内に、100種4万株程の花しょうぶを栽培し、毎年5月中旬から6月中旬まで開園しています。咲き誇る花しょうぶを間近で鑑賞、写真撮影ができるように、園内に八つ橋や東屋を設けており、その老朽化して傷んだ箇所を修繕を行いました。花しょうぶの他にアジサイやスイレンなども咲いていますので、初夏の美しい風景を多くの方に楽しんでいただけるよう、公園の管理・運営を行ってまいります。



7. 花とみどりあふれる美しい佐賀のために②

佐賀市では、市民が主体的にみどりあふれるまちづくりを推進する活動を支援しています。公園や公民館など、地域に密着した場所で花植え活動をされている団体が多く、市内が花でいっぱいになるように日々のお世話などを頑張ってください。

皆様から頂いた寄附金は、現在220団体ほど登録されている花づくりボランティア団体に対し、年2回、緑化資材（花苗や肥料等）の現物支給を行う費用として、大切に活用させていただきます。また、花づくりボランティア活動啓発のための、各花壇への看板の設置も行っています。



7. 花とみどりあふれる美しい佐賀のために③

多布施川河畔公園は、佐賀市中央部を流れる多布施川沿いの公園で、約6.0kmに及ぶ散策路に約3,000本の桜を植栽しており、市内でも桜の名所となっています。

満開の桜が川面に映りこむ景観は多くの市民の方々に親しまれており、佐賀市を離れた方々にとっても心に残る風景の一つだと思われます。

今回の寄附金により、多布施川河畔公園の中流部にウコンザクラなど25本を植樹することが出来ました。今後も多布施川沿いの桜並木の保全に努めてまいりますので、引き続きご支援をお願い致します。



8. ラムサール条約湿地の保全と活用のために①

豊かな海、有明海。その最奥部に東よか干潟があります。

何といても、その一番の魅力は毎年多くの鳥たちが訪れる自然豊かな干潟にあります。

その干潟が世界から認められ、2015年にラムサール条約湿地に登録されました。

佐賀市ではラムサール条約の基本理念「保全・再生」「ワイズユース」「交流・学習」に基づき干潟の生物調査やPRイベント、フォトコンテストの開催、ラムサールクラブやガイドンスルールの運営、子どもたちへの環境学習支援などに取り組んでいます。



8. ラムサール条約湿地の保全と活用のために②

佐賀市ではラムサール条約の基本理念に基づき東よか干潟の保全活動や、普及啓発などに取り組んでいます。

そして、2019年から東よか干潟の魅力を紹介するために「東よか干潟ビジターセンター“ひがさす”」の建設を始めました。「ひがさす」では貴重な野鳥や干潟の生き物、シチメンソウなどの展示を行うほか、展望棟の高さ13mから望む広大な干潟は絶景です。

佐賀にお越しの際はぜひお立ち寄りください。（2020年10月オープン）



10. 環境に配慮したまちづくりと生活環境の保全のために

佐賀市は、緑豊かな山間部、佐賀平野に広がるクリークや田園風景、宝の海といわれる有明海など素晴らしい環境に恵まれています。このような環境を将来を担う子供たちに残すことは今を生きる私たちの使命でもあります。そこで、環境事業の一環として河川水や地下水のモニタリングを行っています。

今回の寄附を活用し、市内111地点の河川水、地下水等の調査を行いました。結果は市のホームページ等で公表しています。

今後も安心して暮らせる環境を維持するために取り組んでまいります。



11. 幕末産業遺産の保存・活用のために

「精煉方（せいれんかた）」は10代藩主の鍋島直正公が推し進めた近代化事業の一つで、蘭学や機械工作技術の第一級者を招聘して、研究開発部門を担当した施設です。

市では遺跡の保存・活用の方向性を探るべく調査を開始しました。令和元年度は、精煉方時代の「紙漉場（かみすきば）」跡とされる場所を調査し、土間を持つ建物跡と近代工場の建物の礎石等を確認しました。今後も調査は継続して行う予定であり、精煉方跡の解明を行います。



松枝神社奉納浮立

12. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために①

佐賀市では文化財の所有者が行う保存修理等に対して補助金による支援や、市が所有している史跡の維持管理を行っています。令和元年度は、長年の使用で傷んだ衣装や用具の製作、史跡の維持管理を行いました。

【補助金による支援】

佐賀市重要文化財「江里天満宮石造多宝塔」保存事業

佐賀市重要無形民俗文化財「高木八幡ねじり浮立」用具整備事業

佐賀市重要無形民俗文化財「快万浮立」用具整備事業

佐賀市重要無形民俗文化財「松枝神社奉納浮立」用具整備事業

佐賀市重要無形民俗文化財「小松の浮立」用具整備事業

【史跡の維持管理】

史跡「西隈古墳」

史跡「常隈山神籠石」

佐賀市史跡「大野代官所跡」



西隈古墳



1 2. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために②

国史跡 東名遺跡は、国内最古の湿地性貝塚（約8000年前）で、日本を代表する縄文時代の遺跡です。現在は、治水対策用の調整池の中にあり、特殊な環境で保存されています。そのため、遺跡を恒久的に保存していくためには、保存環境を監視していく必要があります。令和元年度は、モニタリング調査を行い、遺跡の保存環境が安定していることを確認しました。その他、保存地区や展示施設（東名縄文館）の維持管理も行っています。



1 2. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために③

肥前国庁跡は奈良・平安時代の役所の跡で、発掘調査によりその全貌が判明している学術的にも極めて価値のある遺跡で、国史跡に指定されています。現在は肥前国庁跡歴史公園として整備され、南門等が復元されています。

寄附金は公園や併設する資料館の維持管理経費、夜間に南門をライトアップして実施する芸能祭などに使用しています。毎年10月に実施している芸能祭には多くの方々に参加いただき、秋の風物詩として定着しています。



腹切り地蔵祠堂

1 2. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために④

佐賀市には、地域の方々などで守り伝えられてきた固有の行事や伝統芸能、歴史や文化（地域資源）が溢れています。この地域資源を次世代に継承することを目的とした活動に支援を行っており、令和元年度は下記の5事業への補助を行いました。

- ①猿若神社改修工事（富士町）
- ②祇園祭提灯購入事業（蓮池町）
- ③記憶遺産の「昭和の諸富町」写真集の発行事業（諸富町）
- ④八坂神社倉庫屋根改修（蓮池町）
- ⑤腹切り地蔵祠堂の建て替え及び保存継承事業（大和町）



1 3. 古湯映画祭等で賑わいづくりを

「温泉に入って映画を見られたらいいですね。映画館の無い町で映画祭も面白いと思いますよ。」と、佐賀市の自主映画団体の呼びかけで、昭和59年にこの「富士町古湯映画祭」は始まりました。

36回目は、「平成をふり返って…観る」と題し、2019年9月14日（土）から16日（月・祝）で開催し、ゲストに監督の松村克弥さんや緒方明さん、俳優の井手麻渡さんや松尾諭さんなどをお招きしました。

映画祭期間中は1,890人の入場者で賑わい、たいへん面白かった等、好評の声をいただいております。



1 4. みつせ高原キャンペーン等で賑わいづくりを

佐賀市の北の玄関口である三瀬村の観光をPRし、佐賀市への観光客誘致及び地域活性化のため「みつせ高原キャンペーン」を実施しました。

情報誌（フリーペーパー）を作成し、三瀬に来られたお客様へ、三瀬高原周辺のレジャー、カフェ、レストラン、直売所、観光農園などを紹介しました。

キャンペーン参加店に情報誌を設置し、そこからの寄り道を促し、他店への誘導につなげるためにスタンプラリーを実施し、抽選で豪華賞品が当たるイベントを実施しました。

○スタンプラリーの実施期間2019.7.13～12.31 参加者数：1,419人



15. 佐賀空港北側の川副桜ロードのために

九州佐賀国際空港北側の「川副桜ロード」は、佐賀市の桜の名所として長年親しまれております。

桜が満開の時には、道路両側に植えられた約400本の桜がトンネルのようになり、毎年多くの観光客や花見客が訪れます。

昨年度も皆様から寄せられた『ふるさと応援寄附金』のおかげで、桜の維持管理を行うことができました。

今後も、この美しい桜ロードを多くのみなさまに親しんでいただけるよう努めて参ります。



16. 市民活動の応援のために

佐賀市では、市民活動団体の活動基盤の強化を図り、市民のまちづくりへの参加と実践をすすめるために、市民活動団体が行う公益的な事業に対して、補助金を交付する制度「佐賀市市民活動応援制度」（愛称「チカラット」）を実施しています。

令和元年度は、保健・医療・福祉や学術・文化・芸術・スポーツ、子どもの健全育成などをテーマとする16事業（ちかっと部門9事業、カラット部門7事業）に対して、皆様からの寄附金を活用させていただきました。



17. まちの環境整備・基盤整備のために①

佐賀市では、きれいな水辺空間と快適な生活環境維持のため、毎年、春と秋に「川を愛する週間」という市民総出の河川浄化運動が行われており、9万人近い方々が水路の清掃活動に参加しております。

この運動において佐賀市は、河川清掃に必要な道具の貸出し及び排出されたごみの回収・処分を担っており、皆様方から頂いた「ふるさと応援寄附金」につきましては、河川清掃道具の購入・修理などに有意義に使わせていただいております。



17. まちの環境整備・基盤整備のために②

近年多発している局地的集中豪雨や台風の大雨などによる浸水被害を最小限に留めるには、樋門樋管や排水ポンプ等設備の点検や水路内の流水障害や調整池の貯留機能が損なわれることを防ぐための浚渫・除草・樹木伐採といった対策が必要となっており、皆様方から頂いた「ふるさと応援寄附金」につきましては、浸水被害対策に係る施設等の適切な維持管理に有意義に使わせていただいております。



18. 高齢者、障がい者福祉の充実のために

高齢者の外出の支援を行い、社会参加の促進を図るために行っている、高齢者バス優待乗車券の購入費の一部を助成することに活用させていただきました。

●高齢者バス優待乗車券とは、佐賀市の住民基本台帳に記載されている70歳以上の高齢者が対象の券で、バス降車時に提示すると、1回の乗車につき100円でご利用できます。発行から1年間有効で、次の券を購入される際に購入費の一部を助成しています。

令和2年度活用 ふるさと応援寄附金活用状況

具体的な活用内容は「ふるさと納税便り
vol.12」にてご報告させていただきます。

メニュー項目	寄附金合計（円）	備考
1. 子どもの学びの環境を充実するために	233,498,000	
2. 子どもたちへの支援・応援のために	113,584,000	
3. “バルーンのまち佐賀”推進のために	14,461,000	
4. さが桜マラソン・スポーツ振興のために	7,753,000	
5. 街なかの祭り等を通した賑わいづくりのために	6,312,000	
6. 大隈重信記念館事業を推進するために	22,376,000	
7. 花とみどりあふれる美しい佐賀のために	15,734,000	
8. ラムサール条約湿地の保全と活用のために	24,930,000	
9. 二酸化炭素を使いながら減らしていくために	17,763,281	後年度に活用するため、 基金積立
10. 環境に配慮したまちづくりと生活環境の保全ために	19,149,000	
11. 幕末産業遺産の保存・活用のために	8,610,282	後年度に活用するため、 基金積立
12. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために	16,864,000	
13. 古湯映画祭等で賑わいづくりを	1,841,000	
14. みつせ高原キャンペーン等で賑わいづくりを	984,000	
15. 佐賀空港北側の川副桜ロードのために	3,415,000	
16. 市民活動の応援のために	2,180,000	
17. まちの環境整備・基盤整備のために	21,558,000	
18. 高齢者、障がい者福祉の充実のために	35,045,000	
19. サガン鳥栖の応援のために	10,513,000	後年度に活用するため、 基金積立
20. 市長おまかせ(指定なし)	507,702,437	事務経費他に振り分け
令和元年8月豪雨	3,114,000	
合計	1,087,387,000	